



最終号特集

皆さんの「笑顔」と「元気」に感謝！

今年度も残すところ1週間となりました。今年は、5月の体育大会や10月の文化発表会、など新しい試みも実施し、充実した1年だったのではないかでしょうか。また、卒業式前には生徒会主催の送別行事が実施され、全校生徒でゲームをしたり、合唱をしたりして、全校生徒が

「笑顔」あふれる、木脇中らしいお別れ会となりました。

1年間、いつも皆さんの「笑顔」と「元気」に救われ、前向きに教育活動を進めることができ、また、大きな事故もなく、今年度が無事終了することができ感謝しています。



<送別行事>

修了の日「さあ、次は君の番だ。憧れを超えてゆけ！」



3/26(水)、「修了式」を実施しました。1年生には、初心を忘れず、「夢に向かって努力して欲しい。」「心配りの姿が見えるようになって欲しい。」と再度お願いしました。また2年生には、「自分ができることを考え、主体的に行動ができ、先輩を超える

活動も見えてきた。」「もう、憧れの先輩はいない。いよいよ君の出番だ。」と鼓舞しました。

最後に、今日を節目として、来る4月5日には新たなスタートラインに立って、「夢に向かって挑戦」し、「自分事として行動する」ことを期待しています。

第78回卒業式 「けふもまた 心の鉢を打ち鳴らし～」

3/16(土)、町長にご臨席いただき、「第78回卒業式」を挙行し、卒業生44名が学び舎を去っていきました。卒業生はさすが、あこがれの先輩だけあって、堂々とした立ち振る舞いでした。

(ここからは、「学校長式辞」の一部を紹介します。)

さて、いよいよ木脇の力から旅立つ時がきました。思い起こせば、まだ小さな体に大きすぎるランドセルを背負ってお隣の木脇小1年生として入学した日からはや9年。義務教育の期間を、木脇小・中でほぼ同じ仲間とともに通い続けました。きっと数えきれないほどの多くの思い出ができたことだと思います。

皆さんは、いつも明るく、そして、力強く、木脇中学校のリーダーとなり、後輩たちを導いてくれました。本校は開校以来78年が過ぎようとしています。卒業生の皆さんは、これまで先輩方が築き上げてきた伝統を引き継ぎ、そのよさを生かしながら、さらに、より良いものに進化させ、後輩たちにしっかりとバトンをつないでくれました。

ただ、そんな皆さんであっても、コロナを恨んでいる人もいるかと



思います。逆に、コロナ禍で日常を失ったことで、人との関わりの大切さや勉強やスポーツができるありがたさ、前向きに考えることの必要性など、改めて気づかされたこと多くあったと思います。

困難や苦しみは、必ず人を大きく成長させます。そのような経験こそが、間もなく始まる高校生活、そしてその先の人生において、皆さんの「生きる力」になってくれるものと信じています。

最後に、卒業生の門出に私の大好きな牧水の歌を添え、式辞とします。

「けふもまた こころの鉢を 打ち鳴らし 打ち鳴らしつつ あくがれて行く」

さあ、旅立ちです。



<2～3月の校内>

1年・総合学習の発表や3年・ピアカウンセリング講話、各種表彰が行われました。



九州空手道錬成大会

3年・金丸和心さん、1年の久保田玲玲くんが、そろって優勝しました。



善行児童生徒表彰

3年の池袋悠鈴さんが、朝のあいさつ運動を活性化するなど、生徒会活動に尽力した功績により表されました。

おめでとう

町読書感想文コンクール

1年の東怜杏さんが「優秀賞」、2年の黒木実生さんと芝山結さん、1年の池袋瑠璃さんが「佳作」を受賞しました。

国富町宮日新聞
スクラップコンクール

3年の芝山結さんが、同コンクール中学校の部で「優秀賞」を受賞しました。

4～5月の主な行事

～7(月)春季休業 / 8(金)始業の日、愛の一聲あいさつ運動、新任式、始業式 / 9(水)第79回入学式 / 10(木)避難訓練 / 11(金)身体計測[2・3年]、心臓検診[1年]、新入生歓迎会 / 14(月)身体計測[1年] / 15(火)町読書の日、県数テスト / 17(木)全国学力・学習状況調査[3年] / 23(水)学校参観日、PTA総会 / 25(金)生徒総会 / 30(水)聴力検査[1年]、体育大会結団式 / 7(水)・8(木)校内実力テスト[3年] / 17(土)体育大会 / 23(金)眼科検診 / 5/26(月)～30(金)教育相談週間



学校だよりも、今回が最終号となります。一年間ご愛読・ご好評(?)いただき、作成者冥利につきます。区長さん方のお計らいで、地域の方へも回覧板で地域の方へも届けることもできました。また、今年度はカラーでお配りでき、学校の様子をたくさんお届けできたのではないかと思います。今後も自己満足に終わらず、地域の皆さんにも、喜んでいただけ、元気な地域になる一助になるような紙面づくりに努めてまいります。(向江)

◆木脇中ホームページ◆

※学校の様子や
学校だよりをスマートフォンでも視聴できます！

